



7月号 令和7年7月1日発行

# 一中だより



編集・発行 / 武蔵村山市立第一中学校 〒208-0004 武蔵村山市本町2-76-1 TEL 042-560-1761

## 期末考査を終えて

校長 森元 隆之

さきのは さらさら のきばにゆれる / おほしさま きらきら きんぎんすなご  
ごしきの たんざく わたしがかいた / おほしさま きらきら そらからみてる

7月7日の七夕では、古くから短冊に願い事や詩歌を書き、笹に飾る風習がありました。諸説あるものの、そこから7月を「文月(ふづき・ふみづき)」というようになったようです。さて、一中生は、どのような願い事を書くのでしょうか。『よい成績がつきますように』『都大会で活躍できますように』……。

さて、一学期も残りあと14日間の登校日となりました。先週は、期末考査に取り組み、答案が返却されている教室からは、生徒の満足げな表情や落胆した様子を目にします。特に1年生にとっては、授業の内容も徐々に難しくなり、定期考査についても、小学校の時には経験しなかった緊張感を抱いたことでしょう。

「小学生のときは毎日のように音読や算数の宿題があったので、家庭学習によく取り組んでいたのに、中学生になると定期考査前にしかやらなくなってしまったので、心配している。」という保護者の声もいたところです。本校では、定期テスト前に「学習計画表」を作成しています。当然ながらこれは、計画的に家庭学習を進めるためのものです。何の教科にどのくらいの時間を充てるのか、学習内容として何を取り組むのかというものを、自身の理解の度合いや進捗、優先順位によって組み立てる力も育成されます。

そこで、みなさんと考えたいことは、答案を返却された後こそ、学力が確実に定着するかどうかの岐路になるということです。なぜ間違えてしまったのか、わからなかった部分はどこなのか、という点に注意してもう一度問題を解き、100点を取った状態で終わらせるように、復習をやってほしいと思います。そもそも、部活動などを終えて帰宅してから、就寝までの時間をどのように使っているのでしょうか。学習塾などに通っている人もいると思いますが、スマートフォンを利用しているゲームやSNSに費やす時間が大半を占めていて、先述した保護者の声にあるように、その日の授業の振り返りさえしないまま、遅い時間まで過ごしていないでしょうか。

期末考査答案返却のこの機会に、自分に合った「学習計画表」を継続して作成し、実行できるようご家庭で話し合ってみるのはいかがでしょうか。夏休み期間の学習計画も、今、作り始めることをおすすめします。それも持続可能な学習計画を作ることが大切です。

七夕の短冊に込めた願いが実現することを、

おほしさま きらきら そらからみてる(応援してくれています)

